

「主な取組」検証票

施策展開	2-(2)-オ	子どもの貧困対策の推進	施策	⑤ 保護者への支援
			施策の小項目名	—
主な取組	公営住宅への優先入居			実施計画記載頁 109
対応する主な課題	⑤ 貧困状態にある子どもの保護者は、経済的な困難のほか、社会的な孤立や生活上の困難、家庭で子どもと接するゆとりが持てないなどの問題を抱えていることが多いため、生活、住宅、就労等に関する相談・支援のほか、雇用の質の改善や可処分所得の向上に取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
ひとり親世帯等について、公営住宅の優先入居に向けて取り組む。		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課 【098-866-2418】					
		県営住宅への優先入居を支援				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
								当初予算額	主な財源	
—			—	—	—	—	—	—		○H30年度: ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯を一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努めた。 ○R元(H31)年度: ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯を一般世帯より優先して入居できるような制度運用を引き続き努める。
—			—	—	—	—	—	—		○H30年度: — ○R元(H31)年度: —

活動指標名	県営住宅への優先入居を支援				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	優先入居の制度運用	優先入居の制度運用	100.0%	0 順調	ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯(子育て世帯)を一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努める。	
活動指標名	—				H30年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
活動指標名	—				H30年度					ひとり親世帯等を含む子どもを扶養する貧困世帯(子育て世帯)を一般世帯より優先して入居できるような制度運用に努め、順調に取り組むことができた。
実績値	—	—	—	—	—	—	—			
(2) これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案					反映状況					
① 県営住宅の空き家待ち募集のしおり等において、ひとり親世帯等を含む子育て世帯の優先入居を分かり易く表示し、優先入居制度の活用を促すとともに、市町村・福祉関係機関との連携によりひとり親世帯等の掘り出しを図る。					① 「募集のしおり」において、優先入居となる子育て世帯について、赤字強調で表示するなど分かり易く表示し、優先入居制度の周知を図った。また、「募集のしおり」の配布にあたっては、募集団地所在の全市町村役場等を通じて配布するなど周知徹底を図った。					

様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・ひとり親世帯を含む子どもを扶養する貧困世帯は、依然として多くおり、また物価上昇など貧困世帯を取り巻く社会環境は一層厳しい状況になると見込まれる。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・ひとり親世帯等に対し、公営住宅の優先入居制度の活用を促す必要があり、また市町村・福祉機関等との連携が必要である。



4 取組の改善案(Action)

・県営住宅の空家待ち募集のしおり等において、ひとり親世帯等を含む子育て世帯の優先入居を分かりやすく表示し、優先入居制度の活用を促すとともに、市町村・福祉機関等との連携によりひとり親世帯等の掘り起こしを図る。